



# 笠井かなえの

## Let's市民力!

ネット・宗像事務所  
宗像市東郷 2-4-15  
tel/fax 37-0700

Vol.2 2016年6月

笠井 かなえ

自由ヶ丘2丁目在住 「暮らしのことば」を市政に!

### 合言葉は **生活って政治!**

私たちは、暮らしの中で様々な課題に気付きます。子育てのこと、介護のこと、ごみのことなど…。些細なことかもしれませんが「こんな制度があったら」「税金をこう使ってほしい」と多くの人を感じていることだったりします。

市のいろいろな制度やお金の使い道は、議会で決定されています。その決定の場に私たちの声を反映させるために、私たちの代理として、議員を議会に送りだしています。

### ふくおか市民政治ネットワークの

## 市民自治を広げるための3つのルール



1、 議員は2期8年で交代

2、 活動資金は、議員報酬からの寄付、会費、カンパで

ふくおか市民政治ネットワークの議員は議員報酬の一部をふくおか市民政治ネットワークに寄付しています。それに加え、活動に賛同する市民一人ひとりが会費やカンパを出し、印刷代、事務所費、調査費などの活動費用とし、議員とともに調査や検討を行っています。

議員にお任せにするのではなく、市民とともに課題解決に向けて活動を進めています。

3、 選挙はカンパとボランティアで

討議資料

## 「まさか」の災害時のために

### 日ごろからのコミュニケーションを…

災害シミュレーション・ゲーム「クロスロード」を体験してきました。ゲームは、さまざまな問いに「YES」「NO」のカードを出して判断をしていきます。その後なぜそのカードを出したのか意見交換を行いながら進めていきます。

例えば「パンが避難所に届きましたが、全員に配れるか分かりません。みんなにひとつずつ配ることにしました。みんな並んでひとつずつ受け取っていきます。すると一人の女性が、向こうに動けない祖母がいるので2つほしいと言いました。あなたはその女性に2つ渡しますか?」という問いにどう答えますか。自分の置かれた立場や状況で判断は変わってきます。それぞれが出した答えに正解はありません。自分の中のいろんな感情と葛藤しながら導き出した答えはどれもうなずけるもので、様々な考え方があることを共有することができます。

実際の現場では、早急な判断を迫られます。日ごろからコミュニケーションをとり、思いを共有することの大切さを実感しました。そして、いざという時地域のつながりが重要だと思いました。



### 笠井かなえの 「10の頃 小さなこと」

梅が店頭に並ぶ時期になりました。毎年、梅シユースや梅酒、梅干しなどを作ります。

自分が好きなので作っていた梅酒ですが、今回はいつも以上に愛情込めて作りました。来年二十歳になる長女に、「二十歳になって初めて飲むお酒は、お母さんの梅酒がいい!」と言われたからです。乾杯する日が今から待ち遠しいです。おいしく出来上がってね

梅干しは次女が毎朝食へます。「ママの梅干しが一番好き」と言ってくれるので作り甲斐があります。梅仕事以外では、味噌を家族みんなで作ります。重い容器が廊下の棚(夫が作ってくれた)に並んでいます。地震が起きたときのことを考えると、貯蔵庫が欲しいと思う今日この頃です。